

# 「ながの環境パートナーシップ会議」ってどんな組織

**目的は？** 市民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと環境共生のまちづくりを進めるためにできた組織です。

**いつできたの？** 長野市環境基本条例に基づき、平成13年6月に設立しました。

## ～ローカルアジェンダ21～

1992年のリオデジャネイロ（ブラジル）で開催された「地球サミット」において、21世紀に向けた持続可能な社会のための人類の行動計画として『アジェンダ21』がつけられました。

## 活動はどのように進めるの？

プロジェクト単位で計画を立て、活動を進めていきます。全体の企画運営、関係者との調整は計画推進委員会で決定され、基本事項については役員会で最終決定されます。小委員会は毎月行われ各チームの活動が報告され、新企画については議論され、全体で共有しながら活動を行っています。

## 「パートナーシップ(協働)」ってなあに？

参加者が主体的に、お互いの意思決定や活動のスタイルの違いを尊重し、異なる長を生かしあいながら合意形成して、共通の目標に向かって行動することです。

## 今までの主な活動は？

平成13年の活動開始以来、2年余りにわたり調査・学習や課題を整理・協議して『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』を平成15年3月に策定しました。その後、平成15年度から2年周期で、『アジェンダ21ながのー環境行動計画ー』の推進を行い、平成18年度には、28あったプロジェクトを見直し、「2007年版プロジェクト」として16のプロジェクトをまとめました。

主な活動は、「市民の森ながの」チームの、ボブスレーリュージュパークの森林整備や「トレイ使用・レジ袋使用削減」チームのトレイ削減、「ノー・レジ袋デー」の活動など市民・事業者・行政の協働によって長野市の環境を良くするために活動を進めています。

